



1年自然教室「アドベンチャーラリー」：1位をめざしてグループで協力しました。

TOKO JUNIOR HIGH SCHOOL

東光

第5号

『学び合い』：「誰一人見捨てない」「みんな幸せになる」Think globally, Act locally.

福岡市立東光中学校 平成30年度学校通信

東光中が次に目指すもの

校長 高木 徹

37日間の暑い暑い夏休みを終え、8月27日より授業を再開しました。とは言っても夏休み中も部活動や学習会などで、多くの生徒たちが懸命にがんばる姿や友達と楽しく会話する姿をほぼ毎日見ることができました。

昨年に続き、9月23日からドイツのケルン市を本校生徒17名が訪問し、現地の2つの学校と交流を行います。滞在中は、インターネットのテレビ通話を使って、全校生徒もドイツの生徒と英語を使って交流を行います。代表として選ばれた生徒たちは、夏休み中5日間、英会話の集中レッスンに励みました。ネイティブスピーカー（生まれたときから英語で話している先生）のライアン先生にも協力していただいて、外国の人たちと実際に会話できる英語を身につけました。はずかしい話ですが、私は、学生時代8年間も英語を学習したのに、英語を聞いたり話したりすることが苦手です。今の日本人の大人たちは私と同じような人が多いようです。福岡市に住んでいると、グローバル化が急速に進んでいることを身近に感じます。今の生徒たちが大人になった頃には、どんな職業についても、もっとも英語を使いこなせることが必要な時代になっていることでしょう。大学入試での英語も実際に使える英語力をみるものに変わってきています。

東光中学校では、英語だけでなく、全教科・全教育課程に渡って、これまでとは大きく変わり始めている将来をたくましく生きていける生徒の育成を目指して、新たな取り組みを始めています。もちろん『学び合い』はその中心となるものですが、それだけでなく、生徒たちがより深くものごとを考え、社会に出て活用できる学力をつけることを目指し、授業の内容をより高める

研究と実践に取り組んでいます。11月には、その取組を福岡市教育委員会と共同で福岡市全体に発表する予定です。

夏休み中に、文部科学省の全国学力学習状況調査（いわゆる全国学力テスト）の今年度の結果が公表されました。これは、4月に全国の3年生ほぼ全員を対象に、国語・数学・理科の3教科の学力と生活の様子を調査したものです。文部科学省の方針により、詳細な数値は公表できませんが、本校の3年生全体の学力は、3教科とも全国の平均値と「同程度」という結果でした。この結果は、このテストが始まった6年前の本校3年生の結果を上回っています。とりわけ数学・理科では大きな向上がみられます。

一方で、生活の様子をみると、「朝食を毎日食べる習慣」「学校の授業以外で勉強の時間」「家で自分で計画を立てて勉強をする習慣」「家での読書時間」などの項目が全国平均を大きく下回っているという結果が出ました。この結果から、本校では学校外で過ごすときの生活習慣に課題があったり、時間の使い方が上手にできなかったり、生徒が多く、それが学力にも結びついているのではないかと考えました。そして、生徒一人一人が自分の生活習慣や時間の使い方を振り返り、小さな目標をたて、それを小刻みに達成していくことで、この現状を改善できないだろうかと考えました。そこで、9月より「Toko Student Planner」プロジェクトという「自己管理能力」を育てるための取組も新たに始めました。これについては、また次の号で詳しくお話ししたいと思います。

「自然教室を終えて」

1年 藤家 輝

僕たち1年生は、「背振少年自然の家」で自然教室を行いました。自然教室では、「挑戦・団結・友情～1人1人が高め合う～」というスローガンの達成をめざして3日間を過ごしました。1年生全員でお互いを支え合いながら、野外調理では、それぞれの班で最高のカレーライスをつくったり、アドベンチャーラリーでは、問題を解きながら協力してゴールをめざしたりしました。また、キャンドルの集いやクラスマッチでは、とても楽しい時間を仲間と過ごすことができました。1年生全員で団結して、一つひとつのことを成功させることができ、とてもうれしかったです。今振り返ると、とても充実した自然教室だったと思います。この経験をこれからの学校生活でも大切にしていきたいです。



◇ 1年「自然教室」背振の自然の中で友情を深め合いました。

9月4日(火)～6日(木)の日程で、1年生は2泊3日の「自然教室」に行きました。「背振少年自然の家」で実行委員の生徒たちを中心に、自分たちの手で充実したものにとしようと様々な工夫をしながらしっかりと取り組みました。様々な自然体験や集団生活を通して、お互いの信頼関係がさらに深まりました。



「絵がき書き」では、背振の自然の様子をスケッチして、家族あての「かき」を書きました。



「野外調理」では、班で役割を分担して、みんなで協力しながらカレーライスづくりをしました。



「キャンドルの集い」では、レク係が中心となって進行し、キャンドルに火を付けた後、みんなで校歌を歌いました。



「キャンドルの集い」のレクリエーションでは、有志による出し物で、とても楽しい時間を過ごしました。



最終日の「クラスマッチ」では、「大縄とび」や「ドッジボール」などで盛り上がりました。みんなが楽しい時間を過ごせるように、お互いに声を掛け合ったり、ときには友達に気を配ったりして、とても充実した時間を過ごしました。



◇ 2年「職場体験学習」、3年「高校一日体験学習」を行いました。

9月5日(水)・6日(木)の2日間、2年生は「職場体験学習」、3年生は「高校一日体験学習」を行いました。「職場体験学習」では、様々な職業の現実に触れながら社会におけるマナーや礼儀、言葉遣いを身に付ける機会とし、働くことの喜びや大変さを体験しました。「高校一日体験学習」では、高校生活の説明を受けたり、授業体験をしたりしながら、自分の進路選択に役立てるようにしました。



2年「職場体験学習」では、博多区内17の事業所に協力いただきました。生徒たちの希望で飲食店、販売店、保育園など、様々な業種で体験学習を行いました。

3年「高校一日体験学習」では、2日間で計10校の高校にご協力いただきました。それぞれの学校に10人ずつお世話になりました。

◇ 今年も「早朝学習会(Summer Morning Learning)」を実施しました

8月27日(月)～30日(木)の4日間、今年も早朝学習会を実施しました。朝7:10からその日の課題にしっかりと取り組み、学習会後はおにぎりやパン等の朝食をいただきました。朝食の提供では、地域の方々、グリーンコープ様にご支援をいただきました。ご協力ありがとうございました。また、早朝から朝食準備にご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



Teacher's Commentary

「自然教室を通して」

台風などの天候が心配された自然教室でしたが、無事に予定どおり全日程を行うことができました。自然とたくさん触れ、仲間と寝食を共にすることで、新しい発見が多くあったと思います。その発見を大切にしていって、これからの学校生活に生かしてほしいと思っています。

さて、自然教室のスローガンは「挑戦・団結・友情 ～1人1人が高め合う～」でした。スローガンのもと実行委員を中心に、全員が自然教室を成功に導こうという意識がひしひしと伝わってくる3日間でした。集団生活の中でルールや時間、マナーなどを意識して動く姿や、自分のことだけではなく周りに呼びかける姿が多く見られました。全員がスローガンのとおり「高め合う」ことができた自然教室になったと思います。

この3日間で大きく成長した1年生、これからの学校生活や行事などで活躍してくれることを期待しています。

1年2組 学級担任 有馬 周作

今後の予定

- 9月23日(日) 姉妹校交流事業(ドイツ・ケルン訪問)出発
(～9/28(金)帰国)
- 10月 4日(木) 3年実力テスト
- 9日(火) 生徒会役員選挙立会演説会・投票
- 10日(水) 合唱コンクール開始式
- 12日(金) 前期終業式
- 15日(月) 後期始業式
- 19日(金) 後期学級委員・生徒会役員任命式
- 20日(土) 生徒会役員研修
- 24日(水) 小中特別支援学級交流学習
- 27日(土) 土曜授業(合唱コンクール)会場:東福岡校 講堂